町史だより

西原のさんぽ道 その6 【ウチャタイビラコース編】

今月は、運玉森のふもと桃原集落内にあるウチャタイビラコースを紹介します。集落内のゆったりした雰囲気を楽しみながら、桃原の自然と文化にふれてみてはいかがでしょうか？

それでは、桃原児童公園内にある真境名の殿からスタートし、順を追って説明していきましょう。

ほかにも集落内には、呉屋の石獅子のケーシ（返し）としてつくられた石獅子や、昔の井戸などが残っています。もうひと足のばしてみるのもいいかもしれません。

① 真境名の殿

18世紀の史料にも記されています。以前ここは小高い丘で、松の大木がありました。

② モモタマナの広場

夏には木陰をつくり、冬には違った顔をみせます。この広場も以前は丘だったんだって。

③ 竹垣

桃原集落には、戦前多くみられた竹垣が残っています。さわさわと心地よい葉音がきこえます。

④ 獅子屋

児童公園の南がわに位置する上ヌモーにあります。一帯はウカミヤーともよばれています。

お昼寝コウモリ

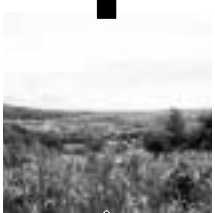
ナガマルコガネグモ

オキナワクワゾウムシ

クビリの壁はニービという砂岩だよ

⑦ ウチャタイクビリ

ウチャタイモー（丘）を切りひらいて通した道。近くに、尚円王につかえたウチャタイマグラーの墓があり、周辺にはウチャタイと名のつく地名がいくつか残されています。



⑥ マチンジャービラ

池田へぬける坂道。昔ここで首里から海辺の別荘へむかう国王を待ったことから名づけられました。

⑤ ウカミヤー

桃原火の神や地頭火の神がまつられています。いろんな動植物も観察できますよ。

※さんぽ道コースは、町立図書館内にある地域情報コーナーにて詳しくみることができます。